

東名古屋病院だより

平成22年 7 月発行 第43号



理 念

私たちは、医の倫理を守り、患者さまの気持ちを尊重し、
より質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さまへの十分なインフォームドコンセントを基本とします。
2. 皆さまに信頼される医療を提供し、療養環境の向上に努力します。
3. 地域に密着し、心のふれあいを大切にした医療を提供します。
4. 医療水準の向上のため、常に研修に励み、医療人としての専門知識、技術の研鑽につとめます。
5. 健全な経営を維持し、安心して療養できる病院をめざします。

目 次

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 2 P : 巻頭言「CHANGE」 | 7 P : 食中毒と臨床検査 |
| 3 P : 新副院長挨拶 | 8 P : 臨床研究部長の今村賞受賞 |
| 4 P : 病気とのつきあい方 | 9 P : 新任医師紹介 |
| 5 P : 附属リハビリテーション学院の紹介 | 10 P : 外来案内、外来診察担当医表 |
| 6 P : 北 1 病棟の紹介 | |



独立行政法人 国立病院機構
東名古屋病院
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION
HIGASHI NAGOYA NATIONAL HOSPITAL

〒465-8620
名古屋市名東区梅森坂5-101
TEL 052-801-1151
FAX 052-801-1160
ホームページアドレス
<http://www.hosp.go.jp/~tomei/>

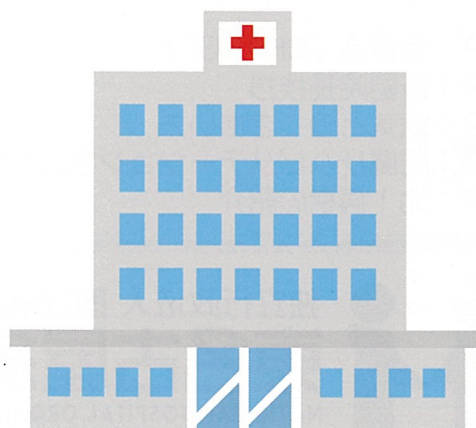
CHANGE (チェンジ)

外来診療部長(整形外科医長) 佐々木康夫



毎年4月になると東名古屋病院にも満開の桜の季節が訪れ、“今年こそ何処かに花見に行かなくちゃ”なんて思っているうちにゴールデンウィークも終わってしまい、すがすがしい季節がやってきたかと思うと、全国の天気予報では梅雨の便りが伝えられています。自分の周囲の変化は激しく、まるで季節の急行列車に乗せられているようです。日本の春は卒業、転勤、入学、就職と人生の変り目の季節ですが、最近あまり変化のない人生を送っている自分でも10年くらい前の写真を見ると、年を取ったなあと変化を実感します。いやこれは変化というより老化と呼んだ方がいいでしょう。海の向こうでは去年‘チェンジ’のスローガンのもとで大統領が誕生しました。日本でも昨年、政権交代が起こり、みんなが変化を期待していましたが、どちらの国の変化も最近では少し失速気味です。老化に代表されるような変化は失速してほしいものですが、失速してほしい変化もたくさんあります。東名古屋病院も国立療養所の時代から独立行政法人に変わり早6年になり、療養所時代の病院から、地域住民の要望に対応するため少しずつ変わってきています。外見上は余り変化がないように見えますが、近い将来には建物を新しくして一気に変わる時期がいずれ訪れると思いますが、今はその時期に備え、病院全体が内面から変わろうと職員一丸となって取り組んでいる最中なのです。その具体的な内容はというと、まず当院の得意分野であるリハビリ部門のさらなる充実です。昨年からリハビリのスタッフ人員は9名の増員を行い、今年はさらに言語療法士3名を含む15名の増員を行っています。また脳外科医師が1名加わったことで、神経内科の病気に加え脳外科疾患の患者さんのリハビリを回復期リハビリ病棟を設けて行うようになりま

した。この回復期リハビリ病棟はいわゆる年中無休で行うリハビリで、発病して早い時期から連続してリハビリを行い、回復を目指します。外来部門では、一部欠員の科がありますが、消化器科の復活と、循環器科、脳外科、皮膚科、精神科、泌尿器科が出来て、今年の春には小児科が新設され、血液・腫瘍内科と総合内科も出来ました。これは東名古屋病院がリハビリ病院として、名古屋市周辺の病院から広くリハビリ目的の患者さんを受け入れるという役割以外に、梅森周辺に住んでみえるみなさんが安心して通院できる病院として変化していく一つの現われです。たとえば言えば現在の東名古屋病院は、蝶々が羽化する前のさなぎの段階とっていただくとうわかりやすく、今のややくたびれた病院の外観は許していただけかと思ひます。東名古屋病院は名古屋市内にありながら、緑豊かな恵まれた自然環境に囲まれています。これは他の名古屋市内の有名な大病院がどんなにがんばっても手に入れることが出来ない大きな財産と思ひます。自分たちはこの宝物を生かした形で地域から信頼される病院をめざして変われるようにながらんでいます。自分自身も職員の1人として、何が必要か考え、変化し続ける年としたいと、新緑がまぶしい病院の窓を眺めながら考えているところです。



新副院長挨拶

「衛藤義人です、こんにちは」

副院長 衛藤 義人



七年前、旧国立名古屋病院（現名古屋医療センター）に戻った時、私はこの病院で定年を迎えるものだと思っていました。しかし、約半年前、内海先生が東名古屋病院に移られ、とてもがっかりしていたところ、転勤のお勤めを頂き、大きく舵を切ることになりました。今回、副院長として赴任しました「衛藤義人です、こんにちは」。

現在六十二歳、医師になって38年目、名古屋医療センターには合計で22年勤めました。趣味は読書、犬の散歩、コーラスなどで、お酒も好きなのですが今は節制しています。私と東名古屋病院との関係は、亡父が肺外科を専門にしており、戦後すぐの頃、肺切除に来ていたとのこと、また、元整形外科医長であられた南場先生の時代に何回かお手伝いに来ていたことくらいでしょうか。現在の状態は何も知らないで来たというのが、本当のところですよ。どうぞ、よろしくおねがいします。

私に与えられた使命は、名古屋医療センター・東名古屋病院・東尾張病院の連携ということ、今後の東名古屋病院の再編・再建ということでしょう。基本的なアイデアは、尊敬する内海先生の頭の中に書かれていると思いますので、私を計画実現するための道具として使ってもらい、各職場の方からは今まで培われてきた東名古屋病院の文化をよく教えてもらいながら、何が大切だったのか、何を変えなければならぬかを、話し合っていこうと考えています。

「私の好きな言葉」は、神学者であり、哲学者でもあるアリストター・マクグラスの「考え方が事柄を変える潜在能力を持っている可能性がある」

という言葉です。病院とその地域の歴史・風土・習慣に学び、新しい道を切り開いて行ければと思っています。

現代は、医療者として働くことに自信を持ちにくい時代となってきました。各職場において、高い望みと誇りを持てるように、心や施設やシステムを整えてゆきたいと考えています。

個人的な考えなのでありますが、これからの時代に大切なのは女性の登用です。私の職場への夢・希望は女性が高い地位に就くことです（まず、看護部長に副院長になっていただきたい）。安心して子育てしながら、母親が健康的に働けること、たくさんの才能をもちながら、うずもれている女性の能力が発揮できる環境整備をしたいと考えています。もちろん、立場上、いやなことと言わなくてはならないのですが、できるだけ皆様と健康的に楽しく過ごしてゆきたいと考えていきます。院内で通り過ぎたとき、どうぞ、声をかけてください。まず、挨拶から始めましょう。



骨密度検査って必要なの？

診療放射線技師 夏目 規生



人は誰でも年をとります。それに伴い、体の機能も若い時のようにはいなくなってきます。加齢やホルモンのバランスの崩れにより、骨形成と吸収のバランスが崩れ、骨がスカスカになり、少しの衝撃で折れやすくなる疾病を骨粗鬆症と言います。日本では約1000万人の患者さんがいるといわれ、近年、高齢者人口の増加に伴いその数は増加傾向にあります。しかし、骨粗鬆症は自覚症状が表れにくく、気づいた頃には症状が進んでいる場合があります。この骨粗鬆症を早期に診断するためのひとつの方法として、骨密度検査（DXA法）があります。

なぜ、骨粗鬆症になると困るのか？

骨粗鬆症になる⇒骨折をする⇒入院する⇒高齢の場合は治りが遅い⇒運動量・日光浴が減る⇒寝たきりになる⇒認知症を促進する

すべての人がこのような状態になるわけではありませんが、上記のような悪い状況に陥りやすくなります。

症状は？

骨粗鬆症は自覚症状が乏しい病気で、腰が曲がったり、背が縮んだりといった症状は、徐々に進むためなかなか気づきません。気づいた頃にはかなり症状が進んでいる場合も多々あります。また、弱くなった骨は潰れやすく、潰れてしまうと圧迫骨折となってしまう痛みを伴うこともあります。圧迫骨折になると背中が丸くなり内臓が圧迫されて、食欲不振や消化不良、便秘などになったりすることもあります。

原因は何？

様々な原因によって、以下の表のように分類されます。

予防のしかたは？

加齢に伴い骨密度は減少します。特に女性の方は閉経後急速に減少します。高齢になってからも十分な骨密度を維持するためには、骨の材料となるカルシウムを十分に取り、骨代謝を盛んにするビタミンD、骨の形成を促すビタミンKを、バランスよくしっかりと摂取しましょう。また、適度な運動で骨に刺激を与えると骨は丈夫になります。天気の良い日は、日光を適度に浴びながら散歩をしましょう。

骨粗鬆症は、がんや心筋梗塞などのように、それ自体が生命を脅かす病気ではありませんが、そこから寝たきりになってしまい、QOL（Quality Of Life:生活の質）の低下につながりかねません。健康で安心した生活を生涯送るために、血圧やコレステロールを気にするように、早期発見、早期治療できるよう骨密度も定期的に測定することをお勧めします。

当院の骨密度測定装置は3月に新しくなりました。従来型の装置と比べ、撮影時間が大幅に短くなり、腰椎の骨密度測定の撮影時間は約90秒で終了します。患者さんの身体的苦痛も大幅に少なくなりました。今までは検査時間が長くて、なかなか検査を受ける気になれなかった人も、一度この機に検査を受けてみてはいかがでしょうかでしょう。



X線骨密度測定装置
Explorer

原発性骨粗鬆症	退行期骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	女性の場合は、閉経を迎えて女性ホルモンの分泌が低下し骨密度が減る
		老人性骨粗鬆症	骨密度は20歳～30歳でピークに達し、40歳～50歳から低下する
	特発性骨粗鬆症		妊娠後骨粗鬆症、若年性骨粗鬆症
続発性骨粗鬆症	関節リウマチ		炎症のある関節あたりの骨におこりやすい
	糖尿病		1型の糖尿病でおこりやすい
	甲状腺機能亢進症		甲状腺機能亢進症（バセドウ病）でおこりやすい
	性機能異常		両方の卵巣を摘除した場合、閉経後と同じ状態になる
	薬剤性		ステロイドなどある種の薬剤を長期間使用するとおこりやすい
	不動性		体を動かさないと、骨を作る働きが弱まる
	その他		栄養性（無理なダイエット）、先天性（骨形成不全症など）

附属リハビリテーション学院の紹介

教育主事 中村 伴子・近藤 登



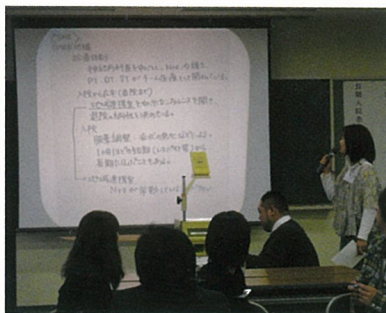
平成22年4月から理学療法学科教員1名が赴任して参り、作業療法学科教員が新規採用となり新たな教職員で今年度がスタートすることとなりました。

新入生も難関の入学試験を突破し理学療法、作業療法合わせて42名を迎えました。2年生はそれぞれの専門分野の科目を本格的に学び始めて勉強意欲に燃え、3年生は8月より6週間の臨床実習に向けて学内での総仕上げを行っているところです。

東海地区では入学生を獲得しがたい状況下でありながらも本学院は定員一杯の学生さんにより賑わっておりますのは皆様方のご協力の賜と感謝しております。

本学院はリハビリテーションに従事する理学療法士又は作業療法士を養成する3年制の学校であります。歴史を振りかえれば日本で初めて国立病院・療養所附属のリハビリテーション学院が昭和38年5月に国立療養所東京病院に開校されました。当学院は、昭和54年4月に東海地方としては初めて、国立病院・療養所附属のリハビリテーション学院としては4番目の養成校として「国立療養所東名古屋病院附属リハビリテーション学院」の名のもとに開設されました。

そして昭和57年までに国立病院・療養所附属のリハ学院は9校が設置されましたが、平成15年12月に国立病院・療養所



(写真1：グループ発表)

附属養成施設の再編成により当学院を除いて閉校が決定され、現在では、当学院が国立病院機構内に唯一存続する養成施設となっております。そのような流れの中で第二期中期計画では機構病院における理学療法士・作業療法士の卒後教育の一端を担うこととなりました。本年1月20日(水)～1月22日(金)に当リハビリテーション学院にて機構病院における理学療法士・作業療法士20名(臨床経験3年から19年)を対象に「長期入院患者のADL向上に関する研修」の第一回目が開催されました。この研修の目的は国立病院機構で担うべき政策医療分野における疾患であります重症心身障害児・者、神経難病、筋

ジストロフィーに対する理学療法・作業療法の指導者育成を行うことにより医療の質の向上を図ることと重症心身障害児・者、神経難病、筋ジストロフィーに対する理学療法・作業療法の均てん化及びEBM、プログラムの標準化に向け情報発信して行くこととでございます。

研修会では各疾患について主に機構内においてエキスパートの講師にご講演頂き講義形式、実技形式、グループ討議形式の様々な形態で進めて頂きました。グループ討議では日頃の臨床を実施して行く上での悩みを解決していく方法の検討や各疾患における支援体制のあり方についても活発に話し合われた結果をグループごとに発表されました(写真1)、講師からも的確なアドバイスをいただきました(写真2)。東名古屋病院の犬飼病棟診療部長を始め渡邊理学療法士長、島田療育主任、増田医療社会事業専門員にもご支援いただき無事に本研修会を終えることができました。

研修会終了後の受講生のアンケートでは殆どの方から満足したという声を頂きました。本年度は8月末に実施する予定でございますのでさらに充実した研修会(写真2：グループへの助言)としてまいりたいと存じます。



(写真3：閉講式)

現在、次年度の準備として学院説明会を予定しており第1回が6/26(土)、第2回が7/30(金)であり、第3回は学院祭と同時開催でありまして10/9(土)を予定しておりますので多数の参加をお待ちしております。

北1病棟の紹介

北1病棟看護師長 住本 明弥

北1病棟は、神経難病の病棟です。開棟33年を迎え、院内でも古い歴史があります。一方で平成11年の改築により、比較的新しい設備なども備えた自然環境豊かなところです。病棟内の廊下は車椅子による移動が安全にできるように、十分な幅があり、病棟に入るためのドアは2枚とも自動ドアが設置されています。ただ、この自動ドアに到達するためには緩やかな登り坂の外廊下を通らなければなりません。ある時には桜吹雪を肩に受けながら、またある時には横なぐりの風雨をよけながら、そして近頃は地球温暖化による（？）暑さをしみじみ実感しながら、車椅子の患者さまと本館の検査やりハビリに通います。



難病とは原因が不明で療法が未確立であり、かつ後遺症を残すおそれが少なくない疾病と定義づけられています。神経難病には、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、

進行性核上性麻痺、多系統萎縮症などがあります。このような患者さまのご入院を受け、個々の障害に応じた生活支援や在宅療養に向けて地域の保健医療従事者との連携強化・ご家族への退院指導の充実を目指しています。さらには計画的なレスパイト（在宅介護を続けているご家族の休息）入院によってご家族の支援に繋がられればと思っております。



（クリスマス会の様子）

北1病棟は平屋建てで、太陽と風と緑をととても身近に感じられる明るい病棟です。単調になりがちな入院生活において、季節を直接感じられる時間を過ごして

いただけます。またささやかではありますが、七夕会やクリスマス会のイベントもスタッフが企画運営し、実施しています。

患者さまとスタッフの心からの笑顔を引き出せる時を少しでも多く、長くもてるような病棟であり続けたいと思っております。

東名古屋病院 納涼健康まつり開催のお知らせ

地域住民との交流、職員間の交流を深め、多くの方に東名古屋病院の良さを知っていただくことを目的として開催します。

開催日時 平成22年8月7日(土) 17:00~19:30

開催場所 当院デイケア棟前駐車場

催事内容 医療・相談コーナー、模擬店、盆踊り、演奏会 etc



食中毒と臨床検査



血液主任 野崎 慎司

食中毒とは、有害な微生物や化学物質を含んだ食品を食べたり飲んだりすることによって起こる腹痛や下痢、嘔吐、吐き気などの健康障害をいいます。食べ過ぎや食べあわせなどによる胃腸炎症状とは異なり、原因が食品中に含まれています。

食中毒をおこす原因物質は沢山ありますが大きく3種類に分類されます。

まず、1番目はフグや毒キノコといった動植物を摂取したために起こる自然毒による食中毒、2番目は有機水銀やシアン化合物など害のある化学物質を取り込んだために起きる化学物質による食中毒、3番目は食品に微生物やウィルスが入り込み、毒素を出したり、それら自体が悪さをしたりする細菌性あるいはウィルス性食中毒があります。これがもっとも発生件数の多い食中毒の原因です。

この細菌性食中毒でよく聞くのが病原性大腸菌O-157やサルモネラ菌、腸炎ビブリオ、黄色ブドウ球菌などがあり、ウィルス性食中毒ではなんといってもノロウィルスが有名です。

当院ではこの細菌性食中毒とノロウィルスの検査を実施しています。

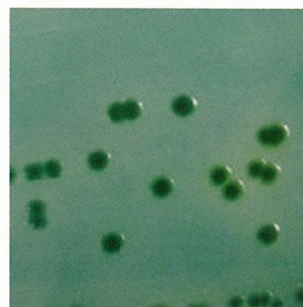
検査材料は、ほとんどが便でありごく一部嘔吐物や血液を取り扱うこともあります。

検査室に提出された便は増菌培地あるいは選択分離培地に塗って1晩37℃で加温した浮卵器にて培養します。増菌培地あるいは選択分離培地とは寒天のなかに細菌が好む栄養素やある種の細菌だけが育つ薬剤あるいは特定の菌に色が

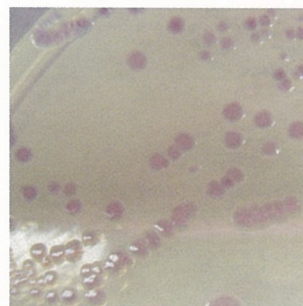
付く薬剤が加えてあるもので、食中毒の検査に必要不可欠なものです。これらの培地を使用することで迅速に原因菌の推定が可能となりました（下の写真は腸炎ビブリオと大腸菌O-157です）。その後生化学的性状などを調べて食中毒菌であるか最終判定しています。またノロウィルスの検査ではイムノクロマト法という方法を用いて約30分で結果が出るようになりました。

この細菌性食中毒は1990年代はサルモネラ菌や腸炎ビブリオ菌による食中毒が多かったのですが2000年頃からはノロウィルスが増加傾向にあります。

感染予防の点からみて手を流水で十分に洗う事と食品を加熱する事で食中毒を防止する事が可能ですのでこの2点に注意してください。



腸炎ビブリオ菌



病原性大腸菌O157

第6回東名セミナー開催のお知らせ

肝臓病をテーマにして10月9日(土)に開催します。多くの方々の参加をお待ちしております。

臨床研究部長の今村賞受賞について

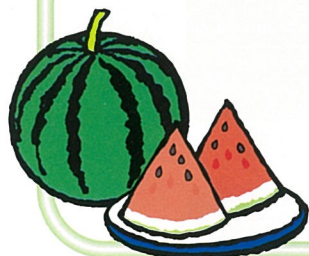
今村賞は、日本の結核研究の草分けのひとり、大阪帝国大学（現国立大学法人大阪大学）教授、今村荒男先生を記念して、優れた結核研究の成果をあげた研究者を顕彰するもので、日本結核病学会の学会賞で最も権威ある賞です。21年度の受賞者は2名。そのうちの一人に選ばれた東名古屋病院小川賢二 臨床研究部長のコメント、「受賞は自分一人の力ではなく、東名古屋病院医療スタッフ全員の功績です。」



東名古屋病院呼吸器内科
(前段中央が小川臨床研究部長)

職 員 募 集

- ・ 看護師（常勤職員：夜勤可能な方）
- ・ 作業療法士
- ・ 非常勤職員：治験コーディネーター（薬剤師・検査技師・看護師）



是非、東名古屋病院管理課庶務係長まで
ご連絡ください。お待ちしております。

TEL 052-801-1151（代表）

展示コーナー出展者を募集しています

患者様の心を癒す書画、工芸品など皆様がお作りになったものを展示いたします。

是非、東名古屋病院管理課職員係長までご連絡ください。

TEL 052-801-1151（代表）

新任者紹介

小児科医長

濱口 典子



本年4月から小児科医長として愛知医科大学より赴任しました。

小児の発達の問題（自閉症、発達障害、言葉の遅れなど）と心の問題（心身症、不登校、拒食など）、内分泌疾患（低身長、肥満、糖尿病や甲状腺の病気など）が専門です。教育機関と連携をとりながら、こどもたちの成長の手助けをしたいと考えております。

また、当病院に併設されている重症心身障害児施設にも携わることとなりましたので、施設の一層の充実に努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

血液・腫瘍内科医長

神谷 悦功



本年4月より血液・腫瘍内科医長として赴任しました神谷悦功です。私たちは血液の病気とがんの薬物療法を担当します。血液・腫瘍内科と聞くと、近寄り難い印象を受けるかもしれません。「健診で貧血と言われた」、「首にぐりぐりが出来て心配」、「最近、青あざが出来やすい」などご心配なことがありましたら気軽にご相談下さい。これまでの経験を生かし、地域の皆様の健康に役立つ診療をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

血液・腫瘍内科医師

中川 綾



本年4月16日より血液・腫瘍内科医師として赴任させていただきました中川です。

血液・腫瘍内科という当院にはこれまでなかった診療科ですが、地域の皆様の医療に少しでも貢献できるよう積極的に診療に取り組んでいきたいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。

第1呼吸器内科医師

辻 清太



4月より呼吸器内科医として勤務させていただいています。私は豊田厚生病院で研修し呼吸器内科医を志しました。その後名古屋大学大学院にて呼吸器疾患の基礎研究に携わってきました。東名古屋病院の第一印象は、「なんて緑豊かで広々とした恵まれた環境なんだろう!」と感じたことです。スタッフも皆、活力溢れる方々ばかりのようです。この病院のスタッフの一員になれることに喜びを感じました。

さて呼吸器疾患は種類が多く疾患カテゴリーも多岐にわたっています。常に内科医としての総合力が問われる分野であり、また各部署の協力がなければ成り立たない診療科でもあります。東名古屋病院においては肺結核、慢性呼吸器疾患の患者さまが中心になろうかとおもわれます。今までに経験することの少ない疾患でもあり不安感があります。呼吸器内科医としてはまだまだ半人前で慣れないことばかりですが一人でも多くの患者さまのお役に立てるよう診療に励みたいとおもいます。どうぞ宜しくお願いします。

第2神経内科医師

榊原 聡子



本年4月より神経内科に赴任いたしました。伝統ある東名古屋病院神経内科で、神経難病、リハビリテーション、在宅療養等、多角的に患者さん方のQOLの向上に関わる診療に携わることができ、大変嬉しく存じます。

科内では一番の若手で至らぬ点も多いと思いますが、経験豊富な先輩方のご指導のもと、他科、他部門との連携を通して、また急性期病院で培った迅速性、早期対応を生かして貢献できるよう努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

第1呼吸器内科医師

長谷川万里子



平成22年4月1日付けで中区の名城病院より赴任して参りました。

呼吸器内科を担当致します。感染症・アレルギー・腫瘍など、幅広く対応していきたいと思っております。

受診される方々のお話をよく聞き、よく考え、分かりやすい説明を心がけます。質の高い健康の維持、健康増進を支援することを目指しております。よろしくお願いいたします。

外 来 案 内

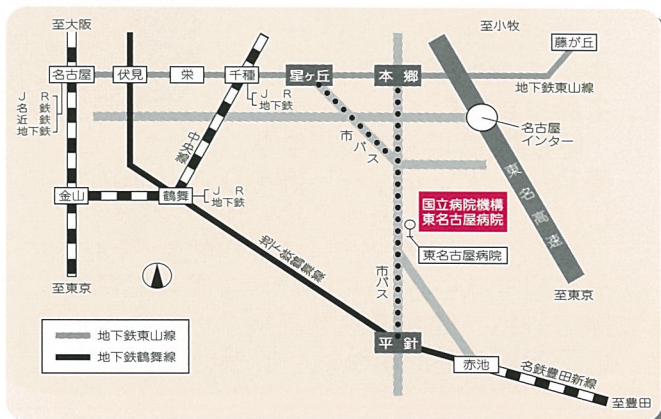
- 診療受付時間 午前8時30分～午前11時まで（緊急の場合はこの限りではありません）
- 診療開始時間 午前9時～
- 休 診 日 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 初診時の特別料金 他の医療機関等からの紹介ではなく、直接当院に来院された患者さまは、初診にかかる費用として、1,050円（税込）をいただいております。ご了承下さい。
ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

外来診察担当医表

（平成22年7月1日現在）

診療科	診療室	月	火	水	木	金
呼吸器内科	①初診	辻 清太	長谷川万里子	林 悠太	篠田 裕美	垂水 修
	①	垂水 修	清水 信	田野 正夫	辻 清太 第1・3・5 長谷川万里子 第2・4	林 悠太
	②	中川 拓	山田 憲隆	中川 拓 第1・3 小川 賢二 第2・4・5	小川 賢二	篠田 裕美
循環器内科	③	竹内 榮二		竹内 榮二		竹内 榮二
神 経 内 科	⑪			犬飼 晃		
	⑫	饗場 郁子	片山 泰司		田村 拓也	榊原 聡子
	⑬	横川 ゆき	後藤 敦子	後藤 敦子	齋藤由扶子	見城 昌邦
	⑭初診	犬飼 晃	齋藤由扶子	田村拓也 第1・3 榊原聡子 第2 後藤敦子 第4 片山泰司 第5	横川ゆき 第1・3 見城昌邦 第2・4 榊原聡子 第5	饗場 郁子
消化器内科	⑰	堀米 秀夫 (10:00～11:30)	高橋 宏尚	平嶋 昇	小林 慶子	高橋 宏尚 小林 慶子 平嶋 昇 (交代制)
呼吸器外科	⑥		山田 勝雄	山田 勝雄		
外科・消化器外科	⑥				加藤 俊之 (肛門外来)	
	⑦	渡邊 正範	加藤 俊之	和泉 孝明	和泉 孝明	渡邊 正範 (乳腺外来)
整 形 外 科	⑧	金子真理子	佐々木康夫	衛藤 義人	金子真理子	佐々木康夫
リウマチ	⑧		佐々木康夫			佐々木康夫
脳神経外科	⑮	水野 正明				竹内 裕喜
泌 尿 器 科	⑮				安藤 正	
精 神 科	⑮			桑原 高史 酒井 崇		
総 合 内 科	③		内海 眞		内海 眞	
	⑮	神谷 悦功 中川 綾		神谷 悦功 中川 綾		神谷 悦功 中川 綾
血液・腫瘍内科	⑮	神谷 悦功 中川 綾	神谷 悦功 中川 綾		神谷 悦功 中川 綾	神谷 悦功 中川 綾
小 児 科	⑮	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子
皮 膚 科	⑤	加藤 愛	加藤 愛	加藤 愛		加藤 愛
		田中 伸 第2 14:00～16:00				
リハビリ外来		見城 昌邦	横川 ゆき	佐々木康夫	榊原 聡子	田村 拓也 第1・3・5 長谷川万里子 第2・4
ド ッ ク		外来人間ドック 脳ドック (予約制)				

※予約制は再来診の場合のみです。初診の場合は通常どおりの診療となります。
※救急診療は、時間外・休日も行っていますので、時間外窓口にご連絡下さい。(052-801-1151)
※当院では、毎週月曜日に外来人間ドック(予約制)を行っていますのでご利用下さい。
※セカンドオピニオン外来(予約制)を行っていますのでご利用下さい。



- 地下鉄東山線星ヶ丘駅下車
 - ・市バス③番のりば } 約15～20分 東名古屋病院にて下車
 - ・東名古屋病院行き
 - ・梅森荘行き
 - ・星ヶ丘よりタクシーにて約15分
- 名鉄豊田新線・地下鉄鶴舞線赤池下車
 - ・タクシーにて約8分
- 地下鉄鶴舞線平針下車
 - ・市バス①番のりば本郷行き約10分 東名古屋病院にて下車
 - ・タクシーにて約8分
- 地下鉄東山線本郷駅下車
 - ・市バス①番のりば地下鉄平針駅行き15～20分 東名古屋病院にて下車
- 東名高速道路名古屋インターより約15分